

第2次健康おたる21関連事業 事業経過シート

第2次健康おたる21関連事業

施策No.	領域	施策	担当	頁
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG	3
2	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発	地域保健SG	4
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG	5
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG	6
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG	7
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙の支援	担当主幹	8
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG	9
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG	10
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG	11
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG	12
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG	13
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG	14
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹	15
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹	16
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす	歯科・栄養SG	17
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG	18
17	全般	第2次健康おたる21普及・啓発	事務局	19
年度別目標達成状況		後期計画策定シート	事務局	20

施策No.	領域	施策	担当
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的:がんの75歳未満の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)
 目標:がん検診受診率の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関に、チラシを配布 国保新規加入者に対してチラシを配布 健康教育による啓発 医療機関、歯科医院、調剤薬局でのチラシの配布 坂の街出版発行のWa-o!に啓発記事を掲載 検診会場におけるポスター周知 広報おたるに記事を掲載 市関係機関(本庁、図書館、サービスセンター他)におけるがん検診チラシの設置依頼 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 がん検診受託医療機関におけるポスター掲示 郵送による個別受診勧奨及び再勧奨の実施(対象抽出) 新規:子宮頸がんクーポン未利用者への再勧奨の実施 新規:教育関係機関における子宮頸がんポスター掲示 新規:おたる健康づくり通信におけるがんの啓発 新規:市内医療機関における健康イベントにおいて、健康教育の実施やチラシの配布(ふれあい健康教室(協会病院主催)、小樽市立病院まつり) <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 市内医療機関で胃がん検診を実施 	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関に、チラシを配布 国保新規加入者に対してチラシを配布 健康教育による啓発 坂の街出版発行のWa-o!に啓発記事を掲載 検診会場、がん検診受託医療機関におけるポスター掲示 広報おたるに記事を掲載 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 郵送による個別受診勧奨及び再勧奨の実施(胃内視鏡検査対象抽出) おたる健康づくり通信におけるがんの啓発 子宮頸がんクーポン未利用者への再勧奨の実施 <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 新規:市内医療機関で、胃がん検診(胃内視鏡検査)を実施 新規:子宮頸がん自己検診受診事業の実施 アクサ生命保険(株)と協定を締結し、職域と連携したがん検診の普及啓発を推進 	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関に、チラシを配布 国保新規加入者に対してチラシを配布 健康教育による啓発 坂の街出版発行のWa-o!に啓発記事を掲載 検診会場、がん検診受託医療機関におけるポスター掲示 広報おたるに記事を掲載 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 郵送による個別受診勧奨及び再勧奨の実施(胃内視鏡検査対象抽出) 職域を対象としたセミナーで、がん検診の周知 子宮頸がんクーポン未利用者への再勧奨の実施 <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 市内医療機関で、胃がん検診(胃内視鏡検査)を継続 子宮頸がん自己検診受診事業の継続 連携協定に基づき、7月18日アクサ生命保険(株)との共同主催で、第1回目の研修となる「健康経営・けんしんセミナー」を実施。20事業者が参加。がん検診について普及啓発を図った。
評価	<p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診:6.3%(前年比±0ポイント) 肺がん検診:8.6%(前年比-0.3ポイント) 大腸がん検診:15.4%(前年比-0.6ポイント) 子宮頸がん検診:24.9%(前年比-1.4ポイント) 乳がん検診:23.2%(前年比-3.8%) 	<p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診:6.3%(前年比±0ポイント) 肺がん検診:8.1%(前年比-0.3ポイント) 大腸がん検診:15.4%(前年比-0.6ポイント) 子宮頸がん検診:23.2%(前年比-3.1ポイント) 乳がん検診:21.8%(前年比-5.2%) 	
改善点	<p>啓発については、市内医療機関と協力し、周知を実施した。 個別勧奨、再勧奨の取組みにより、新規受診者の掘り起こしにつながった。今後も対象を変えながら継続していく必要がある。</p>	<p>啓発については、市内医療機関、関係団体等と協力し、周知を実施した。 個別勧奨、再勧奨の取組みにより、新規受診者の掘り起こしにつながった。 新たに胃がん検診(胃内視鏡検査)、子宮頸がん自己検診受診事業を導入した。 がん検診普及ボランティアについては検討の結果、より啓発効果の高い職域連携を推進していく方向性に変更。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
2	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的：・脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 ・虚血性心疾患の年齢調整死亡率を増加させない ・糖尿病の年齢調整死亡率を増加させない ・20～60歳代男性の肥満している割合の減少

目標・特定健康診査の受診率増加 ・特定保健指導の実施率増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：13回 ・地域のけんしん：7回 →各会場にポスターを掲示し、啓発 ・小樽市けんしんカレンダーを作成し随時配布。 <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問における保健指導を実施する ・対象者で申し込みのない方への電話勧奨、訪問勧奨を行う 	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：13回 ・地域のけんしん：7回 →各会場にポスターを掲示し、啓発 ・小樽市けんしんカレンダーを作成し随時配布。 <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問における保健指導を実施する ・対象者で申し込みのない方への電話勧奨、訪問勧奨を行う ・小樽市立病院における健診当日に特定保健指導を実施し、利用率の向上を図る 	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：13回 ・地域のけんしん：7回 →各会場にポスターを掲示し、啓発 ・小樽市「けんしん丸わかりブック」を作成し随時配布。 <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問における保健指導を継続する ・対象者で申し込みのない方への電話勧奨、訪問勧奨を行う ・健診当日の保健指導の実施を継続。
評価	特定健康診査 18.0%(前年比 +1.4ポイント) 特定保健指導 14.0%(前年比 +3.1ポイント)	特定健康診査 20.0%(前年比 +2.0ポイント) 特定保健指導 17.8%(前年比 +3.8ポイント)	
改善点	未利用者に対する訪問勧奨により、特定保健指導の利用につながったケースもあり、国保と連携しながら、協働して取り組みを実施していく。 特定健診、特定保健指導は受診率、利用率が低迷しており、向上のための検討が今後必要である。	特定健診は、データ受領事業を開始し、受診率向上につながった。特定保健指導は、家庭訪問による保健指導を通年で行うとともに、小樽市立病院と連携し健診当日に特定保健指導を行うことで、利用者の拡大につながった。 今後も国保と連携しながら、受診率、利用率の向上を図る。	

施策No.	領域	施策	担当
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG

目的・目標 目的・目標: 自宅などで血圧測定をする40歳代の割合の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 血圧自己測定に関するリーフレットの配布 特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 職域の健康教育において、リーフレットを使用して血圧自己測定の必要性について説明する。 血圧自己測定に関するリーフレットの配布 特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 職域の健康教育において、リーフレットを使用して血圧自己測定の必要性について説明する。 血圧自己測定に関するリーフレットの配布 特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨
評価	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 9回 237名 イベント参加 4回 392名 (ピンクリボン(2回)、食生活展、体育協会) リーフレット配布 2,457枚 特定保健指導:60名 特定健康相談200名に勧奨 健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 44.9%(回答者の平均年齢が、前年度より若かったため、年齢が低いほど、血圧自己測定をしている者が少ないことが予測される) 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 6回 310名 イベント参加 4回 264名 (ピンクリボン(2回)、食生活展、体育協会) リーフレット配布 2,983枚 特定保健指導:124名 特定健康相談419名に勧奨 健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 40.1%(回答平均年齢55.8歳) 	
改善点	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	

施策No.	領域	施策	担当
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG

目的・目標 目的:40～50歳代の運動習慣を有する割合の増加

目標:ウォーキングサポーターを20名養成し、市民への普及を行う

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングサポーターの養成 市民への健康教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングサポーターの養成 市民への健康教育の実施 ウォーキングサポーターと協働して、平成31年度の事業の方向性について協議する 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングサポーターの養成 6月14日「市民ウォーキング講座」を開催し、市民にストックウォーキングの普及を図った。(参加数:143人) 市民への健康教育の実施 ウォーキングサポーターと協働して、令和2年度の事業の方向性について協議する
評価	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングサポーター養成 9人 市民への健康教育 77回 1,256人 サポーターの養成は近年10名未満と低迷しており、方向性の検討が必要である。市民への健康教育は、毎年1,000名を超える参加があり、安定して実施できていると判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングサポーター養成 6人 市民への健康教育 85回 1,591人 ウォーキングサポーターと、次年度事業の方向性を検討した。市民への健康教育は、毎年1,000名を超える参加があり、安定して実施できていると判断する。	
改善点	養成講座は、今後の方向性について検討する。市民への健康教育については、ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	養成講座は、今後の方向性について検討し、新たな参加者を拡大するための講座を実施する。市民への健康教育については、ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	

施策No.	領域	施策	担当
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG

目的・目標 目的:成人の喫煙率の減少
 目標:おいしい空気の施設登録件数の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設を周知する。 受動喫煙について普及啓発を行う。 ポスターの配布 FMおたる 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設を周知する。 受動喫煙について普及啓発を行う。 ポスターの配布 FMおたる 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が集まる施設を中心に、事業について周知していく。 事業周知にあわせ、受動喫煙防止対策について普及啓発を行う。 ポスターの配布 FMおたる
評価	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設周知・登録勧奨 介護施設65か所、調剤薬局60か所、幼稚園15か所、組合・協会等の団体18団体480か所、司法事務所等会社関係290か所、大学・専門学校6か所、銀行6か所、ホテル10か所、スーパー15か所 おいしい空気の施設:172件 普及啓発 関係機関にポスターを送付 164か所 乳幼児健診でチラシを配布 1,620枚 母子手帳配布時に同封 546枚 イベントなどで配布 2,133枚 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設周知・登録勧奨 大学・専門学校8か所、銀行6か所、ホテル14か所、スーパー15か所 おいしい空気の施設:176件 普及啓発 関係機関にポスターを送付 169か所 乳幼児健診でチラシを配布 1,571枚 母子手帳配布時に同封 480枚 イベントなどで配布 2,188枚 	
改善点	取り組みを継続する。	健康増進法の一部改正により、施設における受動喫煙対策が法により規制されることになったため、平成31年度は、事業周知に合わせ法改正の趣旨について、広く浸透するよう啓発を図る。	

施策No.	領域	施策	担当
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙の支援	担当主幹

目的・目標 目的:喫煙率の減少

目標:禁煙宣言者の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様 禁煙外来との連携により、禁煙開始した方に禁煙宣言をしてもらい、ホームページで人数を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度9月から禁煙支援を強化。登録者への支援メール、相談対応、達成者への修了証書発行等を開始。 ・小樽市HPや広報紙へ掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度からは、支援的な関わりを継続。 ・小樽市ホームページや広報紙への掲載、各種イベントでの禁煙情報の周知に努める。 ・受動喫煙防止対策の中でも、禁煙外来・禁煙宣言の周知を図る。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より禁煙宣言に個人情報を載せないようにしたため、年間登録者は昨年に近い46人となった。事業開始からの累積登録者は131名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者48人 ・累積登録者は179人 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙達成に向けての支援を中心とするのであれば、よりかかわりを深める必要がある。禁煙開始者を増加させるのであれば、より広い対象に禁煙情報を届ける必要がある。以上を踏まえて、どの程度のバランスで事業を行うか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より登録方法を見直し(記名式の登録、匿名登録可)した。 ・禁煙外来終了後(1年間)の支援を新たに加え個別支援を強化した。 ・更なる禁煙開始者の増加を目指し、イベントや健康教育の機会を通じ、広く一般に向け禁煙外来の周知と利用勧奨の啓発を強化していく。 	

施策No.	領域	施策	担当
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方にもおいしく、エネルギー等を心配せず安心して外食を楽しめる環境を整備する。

目標:食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加(「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店数(合計)10件)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・FMおたるでの周知 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・FMおたるでの周知 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布 ・北海道で実施する「ほっかいどうヘルスサポートレストラン」事業の内容や他都市の状況を把握し、来年度に向け事業内容の変更も含め検討する。
評価	登録件数:7件(6店舗) (おたる・スーパーヘルシーメニュー4件・おたる・ヘルシーメニュー1件・おたるヘルシースイーツ2件)	登録件数:6件(5店舗) (おたる・スーパーヘルシーメニュー3件・おたる・ヘルシーメニュー1件・おたるヘルシースイーツ2件)	
改善点	登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知、登録店の周知に努めたが、なかなか登録には結びつかなかった。今後は登録に結びつくような支援の検討が必要である。	登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知、登録店の周知に努めたが、なかなか登録には結びつかなかった。今後は北海道や他都市での支援方法等も参考にし、検討する。	

施策No.	領域	施策	担当
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:市民に朝食の重要性と家族で規則正しい食習慣を実践できるように正しい知識を普及・啓発する。

目標:毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・乳幼児健診時の保護者向けにリーフレットを作成、配付する。 ・市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数:7,200枚	周知リーフレット配布数:7,740枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。特に乳幼児健診の保護者世代の欠食が多いので、健診時に朝食摂取の聞き取り、リーフレットの配布等、普及、啓発を強化する。	

施策No.	領域	施策	担当
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG

目的・目標

目的:市民が自らの食生活を見直すことにつながる正しい知識の普及・啓発

目標:・食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加 ・生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人の割合の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 食生活展において、食事バランスガイド活用のための講話の実施。 市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数:5,329枚	周知リーフレット配布数:5,450枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食などを利用して食生活全体を管理することが大切になっている。よりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境を整備する。

目標:「栄養成分表示の店」の登録店の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 市ホームページへ掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 市ホームページへ掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 新規・変更・廃止等の登録業務は継続。 市ホームページ掲載 北海道や他都市の状況を把握し、廃止も含め検討する。
評価	登録件数:56件	登録件数:55件	
改善点	登録件数が伸び悩んでいるので、今後も北海道などの各関係機関等と連携し事業を推進する。	食品表示法の経過措置が令和2年3月末で終了することを機に北海道は本事業を平成31年度9月末で廃止する。登録件数も伸び悩んでいるので、事業内容を見直す。	

施策No.	領域	施策	担当
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG
<p>目的・目標 目的:相談窓口の周知、相談実務者を対象にした研修会を通して相談機関の連携体制強化の拡充などにより、自殺対策を推進する。</p> <p>目標:年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用ちらしを2,500枚以上配布し、周知を図る。</p>			
	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 街頭啓発キャンペーンの実施 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 相談援助技術専門研修事業における啓発 関係機関へ啓発用ちらしを送付 通常業務における普及啓発活動(健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる) 	<ol style="list-style-type: none"> 街頭啓発キャンペーンの実施 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 相談援助技術専門研修事業における啓発(参加者の増加を目指し、講義の内容に反映できるように、研修参加者から事前に要望や日常業務での問題点や要望などを把握する) 関係機関へ啓発用ちらしを送付 通常業務における普及啓発活動(健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる) 自殺対策を総合的にかつ効果的に推進していくため、自殺対策計画(計画期間:平成31~34年)を関係機関と協議して策定する。 	<ol style="list-style-type: none"> 街頭啓発キャンペーンの実施 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 相談援助技術専門研修事業における啓発 関係機関へ啓発用ちらしを送付 通常業務における普及啓発活動(健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる) 「小樽市自殺対策計画」に基づき、ゲートキーパー研修を実施するとともに各種相談機関の一覧表を作成して啓発に活用する 小樽市自殺対策協議会を開催して、「小樽市自殺対策計画」の進捗状況を評価する
評価	<p>(番号は実施内容に対応)</p> <ol style="list-style-type: none"> 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 79か所にちらしを配布 参加した44団体へ普及啓発(2枚ずつ配布) 385か所へちらしを配布 健康教育は162人、保健所玄関のちらしは市民1,000人に配布 小樽市民生児童委員協議会で682枚配布 小樽市食生活展で150枚配布 ちらし配布数 計4,546枚 	<p>(番号は実施内容に対応)</p> <ol style="list-style-type: none"> 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 92か所にちらしを配布 参加した78人(46団体)へ普及啓発 318か所へちらしを配布 健康教育は114人、保健所玄関のちらしは市民1,000人、小樽精神保健協会研修会で67人、小樽市食生活展で150枚配布 ちらし配布数 計3,819枚 平成31年3月に「生きるを支え合うまち小樽を目指して 小樽市自殺対策計画」を策定 	
改善点	相談援助技術専門研修事業は、参加施設数の増加を目指し、研修会の目的、内容、参加対象施設などを検討していく。	相談援助技術専門研修事業の参加者は、前年度44施設、63人から、46施設、78人と微増した。「小樽市自殺対策計画」に基づき、自殺対策を推進していく。	

施策No.	領域	施策	担当
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG

目的・目標 目的:麻しん排除に向け、麻しんワクチン(1期及び2期)の接種率の向上を図る。

目標:麻しんワクチン接種率95%以上

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<p>1 対象児への勧奨</p> <p>【第1期対象者】</p> <p>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)</p> <p>②乳児健診・相談時勧奨</p> <p>③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時)</p> <p>【第2期対象者】</p> <p>①個別通知</p> <p>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>③未接種児へ電話勧奨(平成30年2月)</p> <p>2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布)</p> <p>保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>	<p>1 対象児への勧奨</p> <p>【第1期対象者】</p> <p>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)</p> <p>②乳児健診・相談時勧奨</p> <p>③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時)</p> <p>【第2期対象者】</p> <p>①個別通知</p> <p>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布)</p> <p>保育園、幼稚園(7月)、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>	<p>1 対象児への勧奨</p> <p>【第1期対象者】</p> <p>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)</p> <p>②乳児健診・相談時勧奨</p> <p>【第2期対象者】</p> <p>①個別通知</p> <p>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布)</p> <p>保育園、幼稚園(7月)、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>
評価	<p>MRワクチン接種率</p> <p>MRワクチン第1期 91.3%</p> <p>MRワクチン第2期 93.3%</p>	<p>MRワクチン接種率</p> <p>MRワクチン第1期 103.9%</p> <p>MRワクチン第2期 92.0%</p>	
改善点	<p>関係機関(保育園・幼稚園)との連携回数を増加する。</p>	<p>今後も接種率の向上に向けて、個別勧奨及び関係機関との連携を継続する。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹

目的・目標 目的:歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる

目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	1.リーフレット配布(歯間ブラシなどの情報) 2.プロフェッショナルケア周知(歯科医師会等との協働による)	1.セルフケア充実のための周知として、3歳児健診で歯間部清掃用具のリーフレット配布。歯科医師会とのイベントなどで周知 2.プロフェッショナルケアを受けの人を増加させるため、歯科医師会等と協働する「あなたの歯は何本？」事業のリーフレットを歯科医院で配布するとともに市民対象の小樽健口講座を開催する。	1.歯間ブラシ使用勧奨リーフレット配布(各種事業) 2.定期健診受診勧奨(歯科医院でリーフレット配布)今年度は歯科医師会会員診療所77箇所にポスターとリーフレットを配布する。 3.小樽市健口講座の実施:周知としてポスターを全歯科医院へ配布するとともに、来年度以降の実施方法等について歯科医師会と話し合う。
評価	1.リーフレット配布枚数は493枚。今年度から「いきいき健康まつり」に参加しリーフレットを説明しながら配布することができた。歯間部清掃用具使用者は1歳半の保護者で51.0%、3歳児の保護者で54.9%、中間評価アンケートで55.8%。 2.プロフェッショナルケア周知に関しては、リーフレットを説明し配布した数は、1,005枚。	1.3歳児健診でのリーフレット配布枚数は574枚。歯間部清掃用具使用者は1歳半の保護者の48.6%、3歳児の保護者で62.3% 2.歯科医師会として協働して行っている定期健診、プロフェッショナルケア周知リーフレットは2,450枚を46歯科医院へ配布し、アンケート回収数は587枚。	
改善点	・歯間部清掃用具使用者では、使用頻度を上昇させるため、さらに周知を行う。	・患者用アンケートは、歯科医院でリーフレットの説明を受けた方の予防意識と、歯数を把握するために行ってきたが、3年間行い、ある程度情報を得たこと、歯科医院側の説明にかかる負担が大きいことから、来年度実施は見直す。 ・健口講座は参加者が少ないことから周知の充実を図る必要がある。	

施策No.	領域	施策	担当
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹

目的・目標 目的:歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる
 目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病セルフチェックリストについては、積極的な配布は休止する。 ・現行のチェックリストについては、保健所ホームページに掲載する。 ・日本歯科医師会が行っている、インターネット上の「生活支援プログラムの歯周病チェック」を周知する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・施策13と統合し歯周病予防啓発に努める。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病セルフチェックの積極的な配布は行わないことから、後期計画では施策13と統合することとし、評価も施策13で行う。 		
改善点			

施策No.	領域	施策	担当
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす(80%以上)	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:乳歯列完成期(3~4歳)のむし歯の無い子供を増やす
 目標:むし歯の無い3歳児を80%以上にする(策定時69.8%)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の27.4%から40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)のうち、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。</p>	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児40%以上を維持するため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)のうち、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。</p>	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児40%以上を維持するため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせをする イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)のうち、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。 ウ. 保育施設歯科健診時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ勧奨</p>
評価	<p>(実績値は、過去2年間を含めた3年間平均で表記) 目標:むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値82.3%(H27-29平均値 策定時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値41.1%(H27-29平均値 策定時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値8.4%(H27-29平均値 策定時13.6%)</p>	<p>目標:むし歯のない3歳児を85%以上にする⇒実績値81.3%(H28-30平均値 策定時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値41.9%(H28-30平均値 策定時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値8.9%(H28-30平均値 策定時13.7%)</p>	
改善点	<p>中間評価で目標値を達成したので、新たな目標値を設定する。 目標:むし歯のない3歳児を85%以上にする</p>	<p>新たな目標値の達成に向けて、保育施設歯科健診時にもリスク診断を行い、ハイリスク児の養育者へ子供用糸ようじのサンプル配布と糸ようじの必要性についてリーフレットを配布</p>	

施策No.	領域	施策	担当
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG

目的・目標 目的:思春期における児童、生徒がエイズ、妊娠、避妊について正しい知識を身につけることができる。

目標:・未成年の喫煙をなくす

・未成年の飲酒をなくす

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。 3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。 3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。
評価	1 実施回数:24回 (小学校17回、中学校3回、高校4回) 2 小中学校及び高校に対して性教育等の健康教育の目的及び申込方法についての文書を配布(1回)	1 実施回数:18回 (小学校9回、中学校5回、高校4回) 2 小中学校及び高校に対して性教育等の健康教育の目的及び申込方法についての文書を配布(1回) 3 アンケート回収率 99.4%	
改善点	事業の周知を継続するとともに、講話内容の質の向上を目的に、実施後のアンケート調査を行う。	新規に行ったアンケート調査により、「人工妊娠中絶を受けられる時期が決まっている」ことを知らなかった者が半数程度いた。育てられない年齢での避妊について引き続き伝えていくとともに、妊娠してしまった場合に、当時者のみで抱え込まないこと、大人に相談することの重要性を具体的に伝えていくことが必要である。 次年度においても事業の周知を継続するとともに、講話内容の質の向上を目的に、実施後のアンケート調査を行う。	

施策No.	領域	施策	担当
17	全般	第2次健康おたる21普及啓発活動	事務局

目的・目標 目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。□

目標:計画の概要説明(目標3,000人)、計画概要版の増刷(目標2,000枚)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 「ネットワーク会議」委員と一緒に本計画について周知・普及を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 「ネットワーク会議」委員より、健康情報の発信・普及として、「おたる健康づくり通信」を偶数月に発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 職域の事業所等を対象とした、セミナーを実施する。
評価	計画1:平成30年度 実績 62団体1,229人 うち新規団体・新規対象 45団体772人 (新規団体の合 62.8%) 計画2:計画概要版の増刷 2,000枚	計画1:平成30年度 実績 59団体1,069人 うち新規団体・新規対象 12団体339人 (新規団体の合 31.7%) 計画2:既存分を活用したため、今年度の増刷はなし。	
改善点	今後も健康教育等の機会を積極的に活用するとともに、ネットワーク会議委員と普及啓発に向けた活動を継続していく。	ネットワーク会議は、平成30年度末で終了したため、新たに職域への対象拡大を検討し、引き続き健康教育等の機会を積極的に活用しながら、普及啓発を図る。 目標2については、必要時の増刷とし目標1に統合することとする。	